

能登半島地震の被災地支援 日本リユースシステム 「古着 de ワクチン」事業と連携

日本リユースシステム(東京都港区)は、1月1日に発生した能登半島地震の被災地支援活動「ベストアクション事業」を開始した。2月から石川県七尾市を中心に支援物資の提供や、地元の学校や災害NGOへの寄付などを実施。また今月からは同市にある福祉作業所「えもる」と組んで、同社独自事業である「古着 de ワクチン」の「能登半島地震復旧・復興応援パッケージ」をリリースする。

3月8日には同社の山田正人社長自らが現地入りし、ヘルメット、防災リュック、食料、おむつ、トイレなどの二次災害予防アイテムや、水、お茶等の飲料など大型トラック2台分の支援物資を届けた。物資を受け取った被災地の人々からは、「物資を届けてもらい安心できた」「衛生用品があった」「二次いつまた地震がくるかわからないので災害予防品はうれしい」との声が上がった。今後は「義善催」として多希飯会、避難所暮らしの人向けの体操教室、共同募金会による福祉相談会、障がい者アート協会所属アーティスト作品展も企画している。



二次災害予防アイテムや飲料など大型トラック2台分の支援物資を届けた

さらに、今月からは古着 de ワクチンの復旧・復興応援パッケージの取り扱いを開始する。古着 de ワクチンは不要となった衣類を回収して開発途上国で再利用することも、ポリオワクチンを寄付する取り組みで、リユース・リサイクルを実現すると同時に、子供たちの命を守る取り組みとなっている。2010年に販売開始、毎月約2万人が利用している。今年2月末までの実績は、合計643万2348人分のワクチンを寄付、合計5070万7400着分の衣類を有効活用している。

今回の応援パッケージでは売上げの一部を、ベストアクションを通じて被災地・被災者の方々が困っている「モノやコト」を「お客様への復旧・復興を願う想いをお届けいたします」をコンセプトとしている。「えもる」が回収キットの製造・発送を行う。同社では今後もさまざまな形で被災地支援を継続して行く考えだ。

古着 de ワクチン能登半島地震 復旧・復興応援パッケージ

プロジェクト概要

お客様にご購入いただいた「古着 de ワクチン能登半島地震復旧・復興応援パッケージ」の売上の一部を、ベストアクションを通して復旧・復興活動に充当させていただきます。

リアルタイムで被災地・被災者の方々が困っている「モノやコト」

そして、お客様の被災地への復旧・復興を願う想いをお届けいたします。

